

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 68	提案機関名 畜産技術センター 企画指導部普及指導課
要望問題名 地域資源の給与が、かながわ鶏の肉質に及ぼす影響	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・鎌倉海岸は地形の関係で、県内に打ち上げられる海藻の約6～7割が集まる。現在、この海藻の大部分は経費をかけて海岸に埋め、廃棄している状況である。 ・一方、海藻はミネラルを多く含み、食物繊維やたんぱく質を多く含むことから、その有効活用が望まれている。 ・上記海藻の一部を乾燥したものを、3%添加し豚に給与したところ、当課の調べでは無添加区と比較して、豚肉中の脂肪含有量が低く、また脂肪の融点も低い結果が得られている。この海藻給与の効果を差別化の有効な手法として豚肉生産に活用する取り組みも始まっている。 ・そこで、地域資源の有効活用と畜産物の差別化を目的に、海藻を含め地域の資源を活用した飼料給与による肉質等の影響についての調査をお願いしたい。	
	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域資源を活用したかながわ鶏専用飼料の開発			
対応の内容等 かながわ鶏に対する未利用資源の飼料化については平成28年度から検討しており、製パン工場から排出される残さの発酵乾燥処理飼料、清酒製造過程で排出される米ぬか、ゴマ油製造過程で排出されるゴマ粕を供試しています。 今後もかながわ鶏への付加価値付与につながる地域資源について、海藻を含めて検討を継続する予定なので、利用可能な素材について引き続き情報提供をお願いします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			